

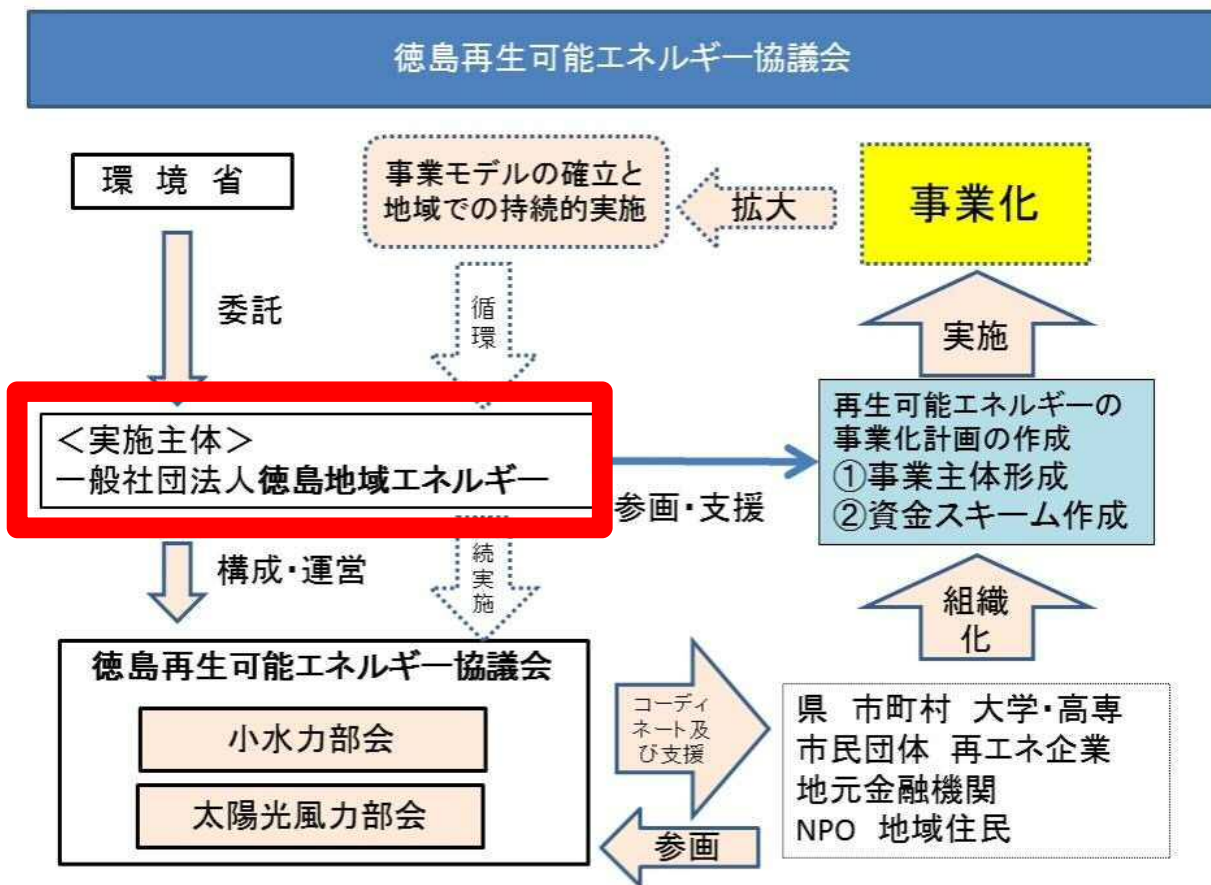
佐那河内村低炭素の里作り事業

所属 一般社団法人徳島地域エネルギー

氏名 常務理事 羽里信和

3年間の地域主導型の経験

(別記2)



佐那河内村
も協議会の
構成員

一般社団法人が目指していること (ビジョンは何か?)

持続可能な地域づくり

地域の持つエネルギーを地域で開発し、利用し、地域の人々が利益を享受できるようにコーディネートする。

- ①生活を守ることと同時に、化石燃料の削減、脱温暖化というアプローチを行う。
- ②地域住民が主体になるという地域ガバナンスの原点に地域をもどす。
- ③コミュニティの安心・安全をつくり、価値を高め、物質的豊かさから精神的豊かさ、満足度をつくる。



【イメージ図】佐那河内・自然エネルギーの里づくり (自然の恵みを限界まで活かした地域作り)



谷の里

- ・ソーラー
- ・バイオマス熱
- ・農業用水水力
- ・一般家庭使用
- ハウス使用
- 家庭熱供給
- 蓄熱・蓄電

地域間電線
地域間熱供給配管

棚田の里

- ・小水力発電
- 電気自動車
- 集落使用
- 蓄電
- 下流供給

地域間電線

山の里

- ・風力発電
- ・集落使用
- 電気柵使用
- 蓄電
- 下流供給

集落制御

- ①スマートメーターによる制御
- ②自家用送電線(VillageLine)の整備
- ③余剰発電の系統連携

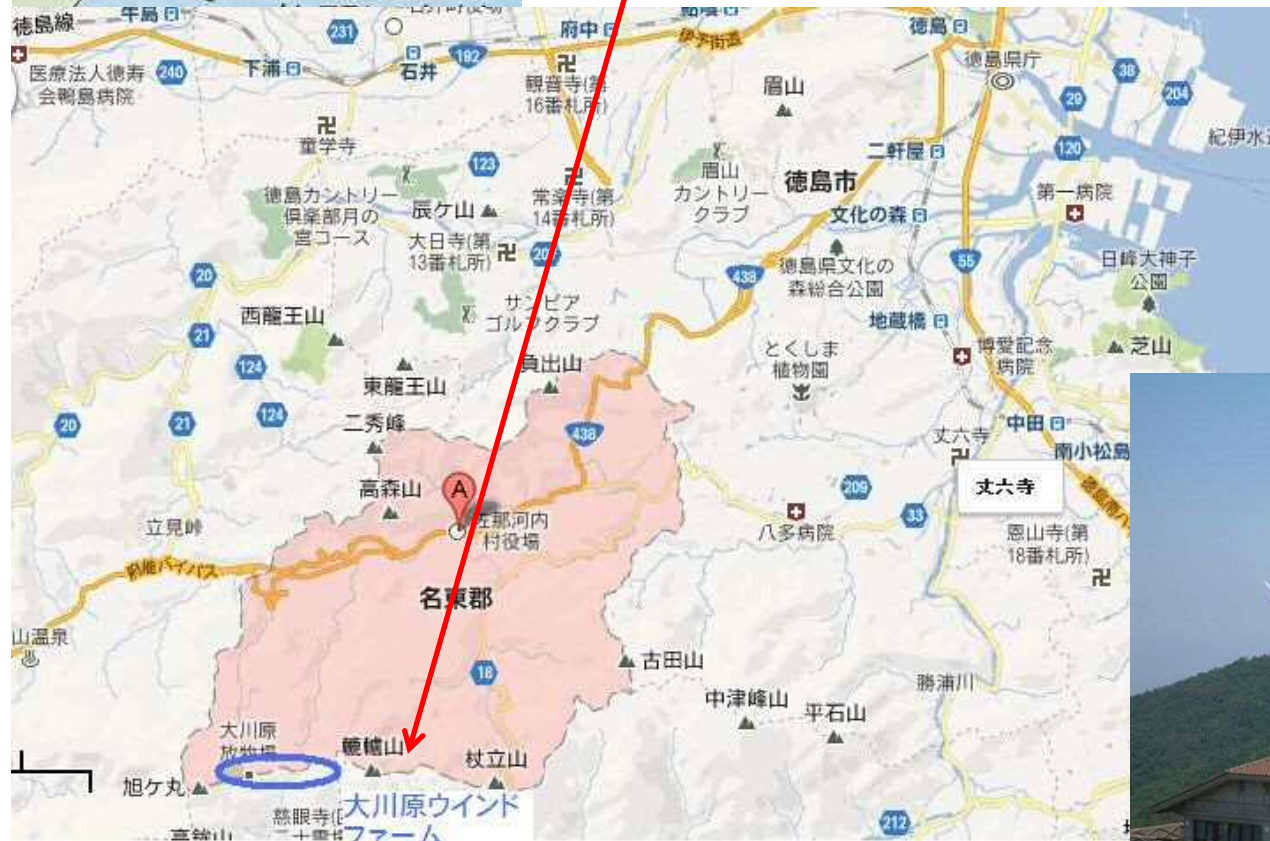
森のゾーニング(案)

- ①自然林保全地区
- ②環境対策施業地区
- ③通常施業地区
- ④広葉樹種転換地区
- ⑤木質バイオマス地区

風力発電: 村風車(予定)の場所について



徳島市に隣接する2,700人933世
帯面積42平方kmの村
南側稜線部に大川原ウインド
ファームがある。



1,300kW ×
15基

19.5MW



村風車に至るまでについて

- 既存のウインドファームが村経済に思ったほど恩恵を与えていない。(税金や借地料も僅か)
- 地域のエネルギーを自分たちが力を合わせて開発し、地域の収益をはかれないだろうか。



村独自で風車事業を行えないだろうか

風車に風況の良い間隙が存在した

- 既存風車の建設時、村有の天文観察施設があり、一部観察視野に入るとのこと、村の要望で、相当離隔距離をおいた箇所が存在した。

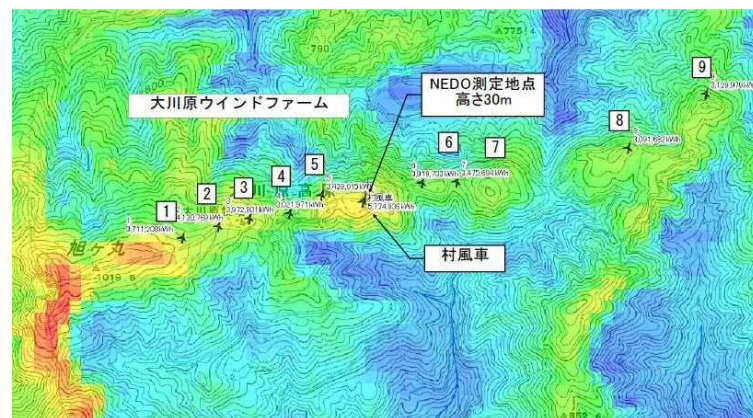
5号機と6号機の間村有地が大きくあいている



村風車建設予定地(1~5号風車方向を望む)



村風車建設予定地(6~9号風車方向を望む)



シミュレーションの結果、風況も良好、予想発電量も優秀であった。

現在機種選定中

村風車

問題点

(1基だとリスク分散ができない。保険)

メリット

- ①もう1基、合計2基を計画中。(1基は市民風車等で行う)
- ②既存開発に付加。環境影響を最小にすることができる。



めざす姿

- ① 地域資源をもつ地元へ、**収益を地元が得る**風車
- ② 電気代がゼロの村づくりの原資にする。
- ③ 住民広域参加の風車を徳島でつくる。

住民協働型の風車づくり

太陽光発電：地域（全部）還元型ソーラー事業



寄付金1万円」



- 1 お礼特産物5年5回
- 2 地域支援 14年



←
総括パンフレット」

↓ 事業事例パンフレット

太陽光発電所を建設する寄付金を募集します

佐那河内みつばち ソーラー発電所



高齢化・過疎化が続く『ふるさと』を応援したい。
みつばちソーラーへの寄付は皆様の想いに応えます。
皆様方の寄付金は、このソーラー発電所
立ち上げの貴重な資金となります



- ・事業者は毎月の賃金を借入れし、売価収入の中から返済をしていきます。
- ・返済に充当できた場合に農産物のお礼を贈ります。
- ・利息、利息から佐那河内の復興機構と環境保全のために支援をします。
- ・最終に農産物を贈ることも佐那河内の復興を支援します。

※ご寄付いただいた方の氏名は、発電所に掲示します。(希望者のみ)

Community Happy Solar

コミュニティ・ハッピーソーラーの普及拡充

- 県内5箇所を実施予定。(1か所完成2箇所建設中)



小水力発電：府能小水力発電所の再開

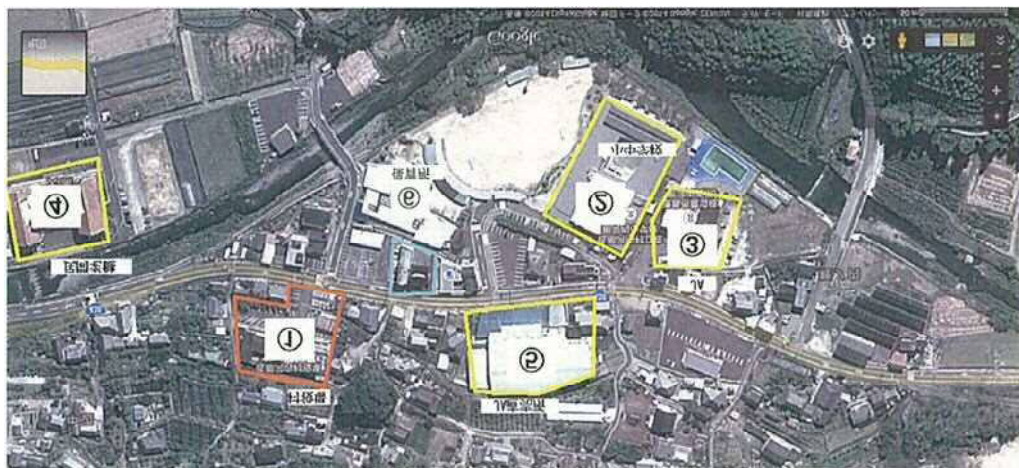
村直営事業で、府能小水力発電所(40kW)を建設を今年度発注。
旧電力廃止発電所の再開、当法人の技術支援(誘導型低圧連系)

木質バイオマス熱：地域熱供給の導入

当法人支援で民間病院(吉野川市)に地元技術で導入。



(GPP)佐那河内村で木質バイオマス地域熱供給を計画策定



- ①役場
- ②小中学校
- ③JA
- ④特養(社会福祉法人)
- ⑤JA集荷場
- ⑥保育所
- ⑦近接する農業用ハウス

これからの木質バイオマス

高価な機器から



高度技術の
安価な機器へ

ピーク対応に油



オールバイオマス

- ①家庭向け多用途機器の安価な導入
- ②石油依存農業からの脱却
- ③木質バイオマス冷暖房の普及促進

蓄熱槽の技術を積極的に利用する



エネルギーの地産地消と
石油代電気代の節約へ

燃油高騰安定化

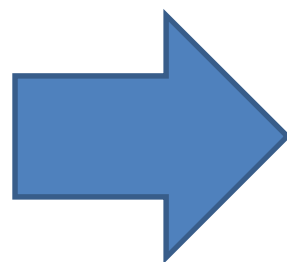
消えた農産物対策

燃油高騰のため特産物がどんどん消えていく

(加温スタチ、加温ゆず、温室バラ、胡蝶蘭などがすでに消える)



灯油温風機
(Nepon他)



転換
安定化
地元資源利
用



木質ペレット温風機

徳島地域エネルギーの地域支援

地域とともに考え！ 地域とともに創り上げる！

4つの再エネのすべてを組み合わせた地域支援

- 1 1昨年度で、**村風車**の風況シュミレーション調査。
費用は全額補助金＝村(村民)負担はなし。
- 2 コミュニティハッピーソーラー事業の企画。実施。
- 3 小水力発電(村事業)の技術支援【低圧連系技術】
- 4 身近な地域や家庭で使う身近なバイオマスの設置技術を開発。

【今回GPP】

5 役場の建て替えによる、木質バイオマスによる地域熱供給の計画を策定中

最後に：徳島地域エネルギーの方向性

- ①再エネ施設のコーディネーター(民間スキーム太陽光15MW)
- ②コミュニティ・ハッピーソーラー(合計700kW)を、より県内・県外普及拡充
- ③地域のトータルの再エネ化支援(全国)
- ④規模感のある事業を正面から取り組む。
- ⑤再エネ施設の管理(電気保安管理法人)拡大
- ⑥特定規模電気事業者としての活動
- ⑦団体の若手職員の雇用、広域人材育成

